

2023 年 7 月 28 日

The Emerging Markets Weekly

欧米中銀の政策決定や米経済指標の結果に揺れる

新興国市場:先週末 21 日、アジア時間は前日に米国労働市場の底堅さが示され米金利が上昇し、新興国通貨は軟調。THB と KRW は前日比 ▲1.0% 超下落した。欧米時間、日銀 7 月金融政策決定会合で現状維持との関係者発言が報じられ円が急落し、ドルが上昇したことが新興国通貨の下押し材料に。TRY や MXN が下落。週初 24 日、主要中央銀行の金融政策会合を控え、アジア時間の新興国通貨はまちまち。KRW が上昇する一方、TWD が値を下げた。欧米時間、欧州諸国の 7 月 PMI が軒並み市場予想を下振れ、ユーロに連れて東欧通貨の大半が下落。米 7 月 PMI も予想を下回るが FOMC を控え米金利は上昇。しかし、中南米通貨は大半が堅調に推移した。ZAR と BRL は前日比 +1.0% 超値を伸ばした。25 日、アジア時間は中国景気刺激策への期待が新興国通貨の支援材料となった。CNY と KRW が上昇。CNY は中国株式市場の堅調や銅価格の上昇が支えとなった。欧米時間は中央銀行イベントを控え、新興国通貨は動意を欠いた。東欧通貨が底堅く推移する一方、中南米通貨は軟調。ZAR は前年比 +1.1% 値を上げた。26 日のアジア時間の新興国通貨は FOMC を控えまちまち。THB はタイ 6 月貿易収支が予想外に黒字となったことが好感され上昇した。一方、IDR や INR は軟調。欧米時間、FOMC では市場予想通りとなったが、パウエル FRB 議長の会見がハト派的と捉えられ米金利は低下、新興国通貨は買い優勢となった。MXN や RUB が堅調。他方、ZAR は下落した。27 日、アジア時間の新興国通貨は前日の流れが継続し上昇、MYR や THB が堅調。欧米時間、ECB 政策理事会では 25bp の利上げが決定されるも、9 月の利上げが予告されず、ユーロに連れて東欧通貨は下落。米 4~6 月期実質 GDP が米景気の堅調さを示唆する結果となったことを受けてドルが上昇。新興国通貨は下押しされた。ZAR が前日比 ▲1.3% 値を下げた。

アジア:24 日発表のマレーシア 6 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.4%と市場予想通りとなった。同日発表のシンガポール 6 月 CPI は同+4.5%と市場予想(同+4.4%)を上回った。中国共産党は 24 日に政治局会議を開き、不動産市場への支援強化、地方政府債務リスクの統制、為替相場の安定化等の政策方針を表明した。25 日発表の韓国 4~6 月期実質 GDP は前期比+0.6%と市場予想(同+0.5%)を上回り 2 四半期連続でプラス成長となった。インドネシア中央銀行は 25 日に政策金利を 5.75% に据え置くことを決定した。同日タイのムハマドノー下院議長は 27 日に予定していた首相指名選挙を延期すると発表した。

中東欧・アフリカ:ロシア中央銀行(CBR)は 21 日に政策金利を 100bp 引き上げ、8.50% にすることを決定した。利上げの実施は 2022 年 2 月以来。CBR は労働市場の逼迫、内需の強さ、RUB 安がインフレ圧力を高めていると述べた。

ラテンアメリカ:大手格付会社は 26 日にブラジルの長期外貨建て債務の格付けを「BB」に引き上げた。また、直近 1 か月でインフレ鈍化が確認されており、翌週の金融政策会合にてブラジル中銀の利下げ期待も高まっている。

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhc.co.uk

市場概観(トルコ)

7 月金融政策会合～利上げ幅は市場予想を再び下回る

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

トルコ中央銀行(TCMB)は 7 月 20 日の金融政策決定会合で政策金利を 15.0%から 17.5%へと+2.5%ポイント引き上げた。前回の 6 月会合では 8.50%から 15.00%へと+6.5%ポイント引き上げており、利上げペースを縮小した。ブルームバーグ集計のエコノミスト予想はばらつきが大きかったが、予想中央値は+3.5%ポイントの利上げ(政策金利は 18.5%)であり、利上げ幅は市場予想を下回った。

TCMB は利上げ継続を表明

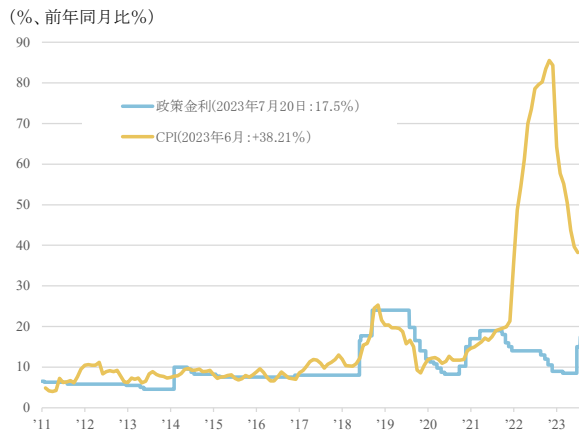
声明文で TCMB は今後も政策金利の引き上げを継続すると表明したほか、量的引き締めおよび、選択的な信用引き締め措置を行うことを決定したと述べている。同日、TCMB は為替差損保護付きリラ預金口座に対し 15%の預金準備率を適用すると発表している。リラの過剰流動性を吸収し、リラをサポートすることが目的と見られ、TCMB はこうした措置を今後も発表する方針であろう。この他、声明文ではインフレ環境に関する見解がアップデートされている。TCMB は大幅な賃上げや、通貨安、増税、企業の価格決定行動によってインフレのトレンドには上昇圧力がかかっているとの見解を示している。

市場予想を下回る幅の利上げ後に、トルコリラが売られなかった背景

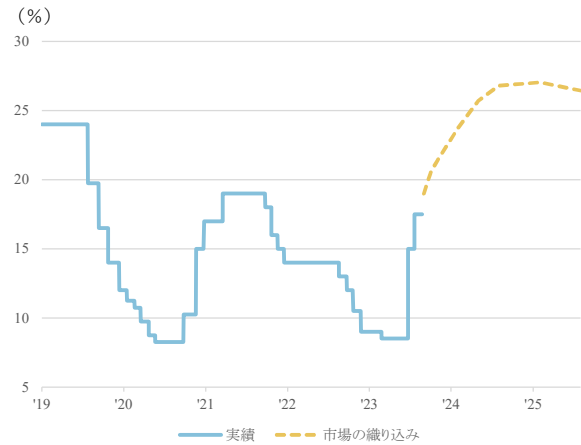
政策発表後、リラは史上最安値圏ながら若干、持ち直す動きを見せたが、こうした市場の動きを理論的に説明するのは難しい。6 月会合では+6.5%ポイントの大幅利上げにも関わらず、引き上げ幅が市場の期待値に届かなかったことでリラは対ドルで▲5%超の下落となった。今回は利上げ幅が+2.5%ポイントと 6 月より小さく、市場の期待値も下回ったため、リラにさらなる下押し圧力がかかると見るのが道理のように思われる。この点に関しては、TCMB が 6 月会合の声明文や議事録で、利上げは緩やかなペースで行うと繰り返し説明していたために、市場でもそうした受け止めが広がっていた可能性はあるだろう。また、会合当日の 7 月 20 日にはアラブ首長国連邦がトルコ経済への支援を強化することを約束し、500 億ドルを超える価値があるとされる協定に合意したと伝わっている。エルドアン・トルコ大統領は投資誘致のため湾岸を歴訪しており、直接投資や株式投資をはじめとするトルコへの資金フローの拡大の可能性が市場で意識されている可能性もあるように思われる。

7 月 27 日のインフレーションレポート公表とエルカン総裁の記者会見が焦点

とはいえ、トルコリラが他の新興国通貨に比べて下落スピードが速いのは、大幅なマイナスとなっている実質政策金利が最大の要因と見られ、金融政策への信認がリラ安定の鍵であることには変わりがないだろう。TCMB がなぜこの利上げペースが適切だと考えているのか、どこまで金利を引き上げるつもりなのかは声明文からは見えにくい。エルカン総裁は 7 月 27 日にインフレーションレポート公表とともに記者会見を行う予定であり、TCMB のインフレ抑制戦略がはっきりと示されるかを見極めたい。

図表 1: 政策金利と消費者物価指数(CPI)


出所: トルコ中央銀行、トルコ統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

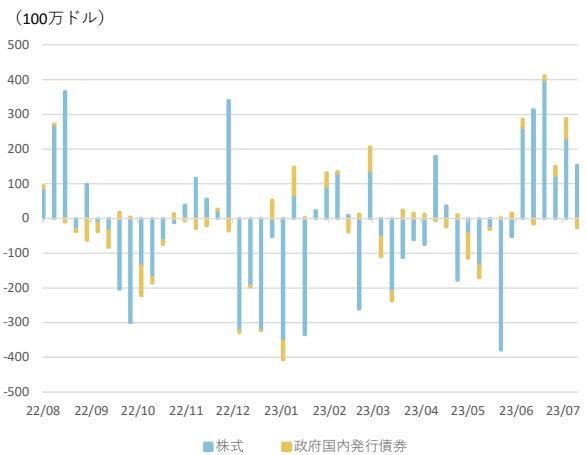
図表 2: 政策金利実績と市場の織り込み


注: 市場の織り込みは、OIS スワップカーブから求めた。2023 年 7 月 20 日時点。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: TRY の動向


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: トルコ金融市場への海外からの資金フロー


出所: トルコ中央銀行、ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(南アフリカ)

7 月金融政策会合～11 会合ぶりに据え置き のサプライズ

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ準備銀行(SARB)は 7 月 20 日、政策金利を 8.25%で据え置いた。ブルームバーグ集計のエコノミスト予測では、27 名中 17 名が+25bp の追加利上げを予想していた。10 名は据え置きを予想していたほか、金利フォワード市場での直前の織り込みは+25bp の追加利上げの確率が 40%と、50%を下回っていたため、完全にサプライズだったわけではないものの、据え置き発表後に南アランドは下落している。

11 会合ぶりに据え置き

SARB の政策金利据え置きは 2021 年 9 月以来であり、これまで 10 会合連続で利上げをしていた。さらに、今年 3 月と 5 月の 2 会合では利上げ幅をそれまでの+25bp から+50bp に拡大していた。

据え置きではあるが、SARB のタカ派色は依然として強い

結果は据え置きではあったものの、記者会見や、声明文、アップデートされた経済見通しは、SARB の中でインフレ警戒姿勢が根強いことを感じさせるものだった。クガニャゴ総裁は、利上げサイクルが終わったわけではなく、今後はデータ次第だと発言している。さらに総裁は、インフレが再び加速する恐れのある要因として、グローバルな環境の不透明感と共に、エルニーニョ現象に伴う食料品価格の押し上げのリスクや、計画停電に伴う供給・輸送の混乱のリスクを挙げている。金融政策決定委員会の中で据え置きは 3 対 2 の賛成多数で決まっており、2 名は追加利上げを主張していた。また、インフレ見通しは前回 5 月の会合から全体的に引き下げられているものの、2023 年 10～12 月期の消費者物価指数(CPI)の見通しは前年同期比+5.3%と 5 月時点の同+5.6%からわずかに僅かに引き下げられたにすぎない。また、CPI が SARB のインフレ・ターゲット中央値である前年比+4.5%まで低下するのは 2025 年後半まで待つ必要があるという見解は維持されている。市場が織り込んでいるように、2024 年に SARB が利下げを開始する兆候は、少なくとも今回の会合では見られなかった。

金利面からはランドはサポートされやすいが、米金利や中国経済の動向をはじめ、外部環境に留意が必要

今回の据え置きはサプライズではあったものの、総じて SARB のタカ派姿勢は維持されており、市場の利下げ織り込みが今後剥落する可能性を考慮すれば、金利面からはランドがサポートされる面は大きいだろう。次回の金融政策決定会合は 9 月 21 日に予定されているが、ランドが大きく崩れない限りは据え置きとなる可能性が高い。一方、ランドの値動きは、南アの国内要因に加えて、外部環境の影響を受けやすい。米金利や、中国経済の動向には留意する必要があるだろう。

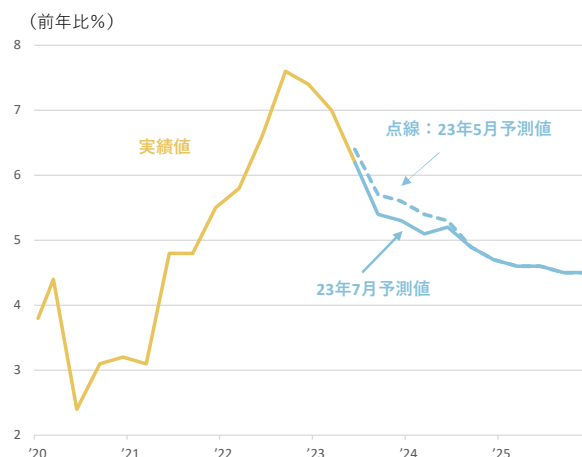
図表 1: 政策金利と消費者物価指数(CPI)


出所: 南アフリカ準備銀行(SARB)、南アフリカ統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

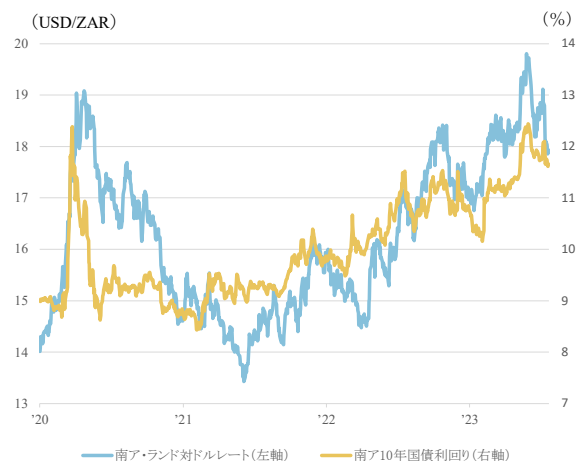
図表 3: 南アフリカ 1 年後金利織り込み


注: 12 か月後スタート期間 3 か月のフォワードレートから、3 か月 JIBAR を差し引いている。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 南アフリカ準備銀行 CPI 予測値


出所: 南アフリカ準備銀行(SARB)、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 南ア・ランド相場と 10 年国債利回り


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(インドネシア)

7 月金融政策会合～BI のインフレ対応は手仕舞いへ

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

インドネシア銀行(中央銀行、BI)は 24～25 日に開催した金融政策会合で、政策金利の 7 日物リバースレポレートを従来の 5.75%に維持した(図表 1)。上限金利の翌日物貸出ファンリシティ金利と下限金利の翌日物預金ファンリシティ金利もそれぞれ 6.50%、5.00%に据え置いた。BI は 22 年 8 月以降、合計+225bps の利上げを行ったのち、6 会合連続で政策金利を維持。なお、ブルームバーグの事前予想でも、各種政策金利の据え置きが優勢であった。

声明文及びペリーBI 総裁の会見では、23 年の世界経済成長予想に関し、従来の前年比+2.7%に据え置いた。欧米をはじめ先進国での景況感の底堅さを評価した一方で、中国経済の回復ペースが弱まっている点について引き続き警戒感を示した。また、国内経済については、消費、投資とも従前の予想よりも活発化している点を強調。外需の減速など不確定要素は混在するものの、23 年の実質 GDP 成長率予想は前回会合時と同様、同+4.5～+5.3%とした。

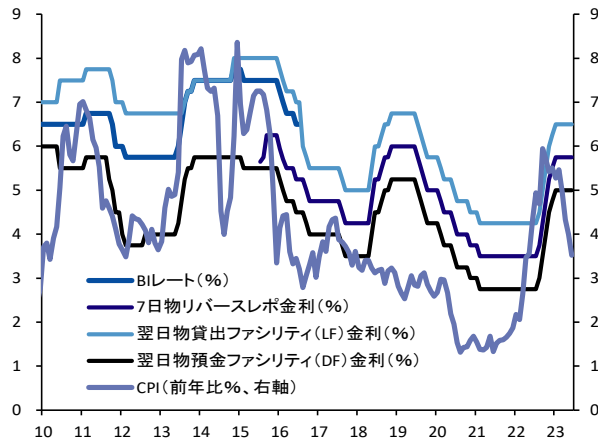
物価動向について、直近公表の 6 月消費者物価指数(CPI)は前年比+3.5%と 5 月に続いて BI の定める目標レンジ(+2.0%～+4.0%)に収束した(図表 2)。引き続き食料品価格上昇のベース効果剥落が主な要因となっている。食料品・燃料価格を除くコア CPI は同+2.6%と 5 月の+2.7%から小幅な鈍化に留まったものの、目標レンジ内での推移が継続した。先行きについても、BI の政策運営と政府による一部商品の価格統制によって、総合ベース、コアベースとも BI の目標レンジ内での推移となることを見込んでいる。

また、4～6 月期における貿易黒字は 78 億ドルと商品価格の下落もあって、1～3 月期の 121 億ドルから縮小したが(図表 3)、BI は従前よりかかる状況を織り込んでおり、23 年の経常黒字が対 GDP で▲0.4～+0.4%の範囲に着地するとの予想を維持した。4～6 月期はリスク心理の悪化に伴い対内証券投資が▲13 億ドルの流出超となったものの、足許の景気や直近において大手格付期間によるインドネシアの先行きに関する格付が引き上げられたことを追い風に持ち直すといった見方を示しており、総じて IDR の需給は底堅いことを強調した。

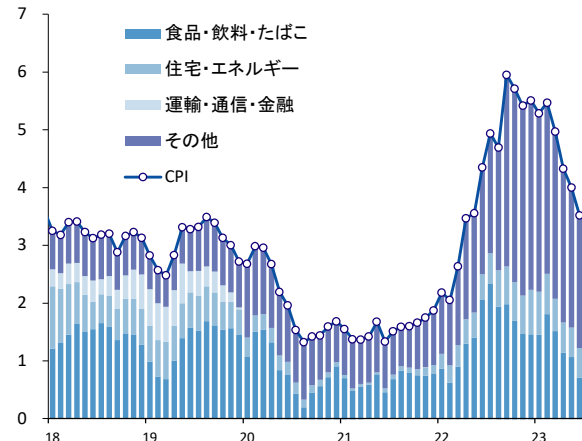
こうした状況下、ペリー総裁はインフレを目標レンジ内に留めつつ、IDR の安定性を維持することが引き続き金融政策運営の焦点であるとした。同総裁の発言内容から推測すれば、昨年から続いていた利上げは終了したと考えるべきであろう。むしろ会見では、企業部門の借入減速に言及しており、10 月以降民間銀行に対して預金準備率の引き下げを要請する旨の発言も見られた。こうした点も政策姿勢が転換期を迎えていることを示唆しているように思える。

月中の IDR 相場動向を見ると、15000 付近での安定的な推移となっている(図表 4)。足許においては日米欧の金融政策会合を直前に控えていたこともあり、その傾向は一段と強まっている状況だ。7 月 FOMC においては 25bp の追加利上げが市場では既に織り込まれていた印象があり、実際に利上げによる為替への影響は軽微なものに留まっている。今年を通じて、市場による FRB のハト派転化への期待を都度 FRB が一蹴するような展開が続いているが、月中のドルの軟化もこうした経緯で生じたも

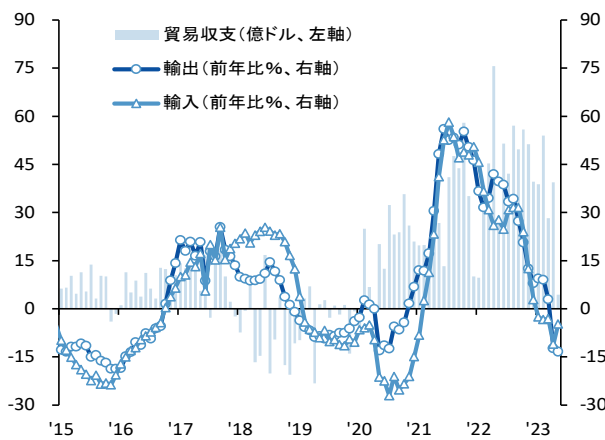
のと推測される。今回会合でも FRB がハト派化の道のりを明示するには至らず、米 4～6 月期 GDP が市場予想を上回るなど、米経済の底堅さが確認されている。引き続き今後利上げが終了した場合においても、直ぐに利下げには至らないと予想される中で、タカ派な現状維持 (Hawkish Hold) の下で米金利の高止まりとドルが再度強含む可能性も視野に入れておきたい。

図表 1: 政策金利と消費者物価の推移


出所: インドネシア銀行、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価の動向 (前年比%、%ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 貿易収支の動向


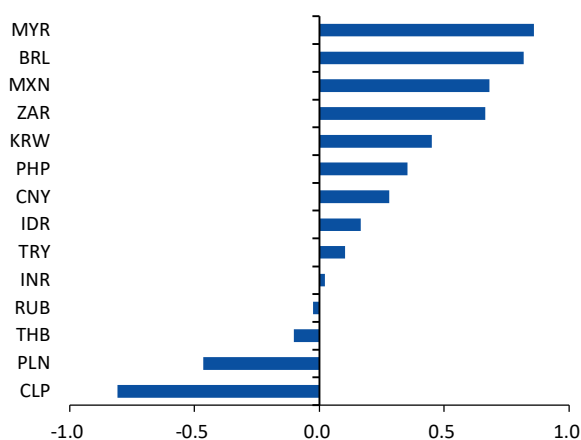
出所: Bloomberg、みずほ銀行 注: 後方 3 か月移動平均

図表 4: IDR 相場の動向


出所: Bloomberg、みずほ銀行

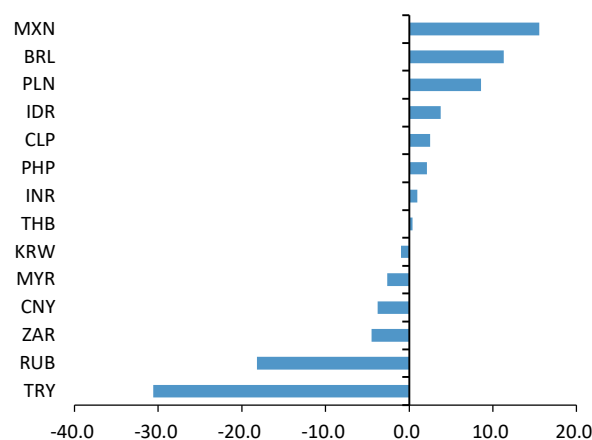
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



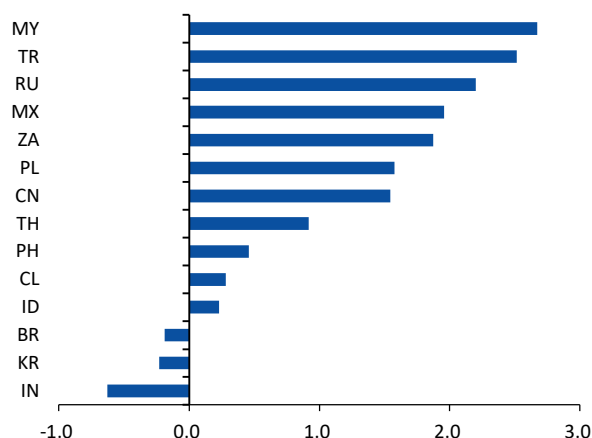
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



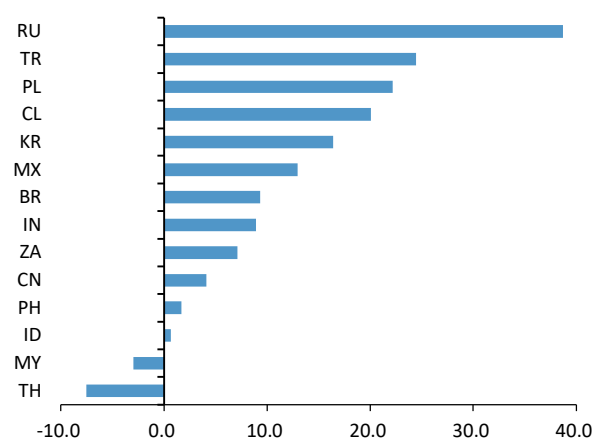
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



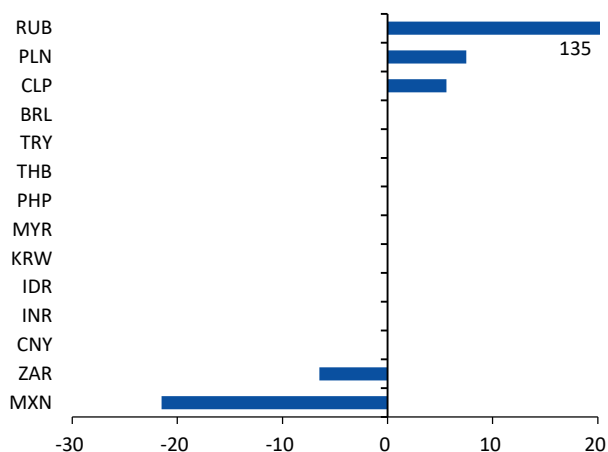
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

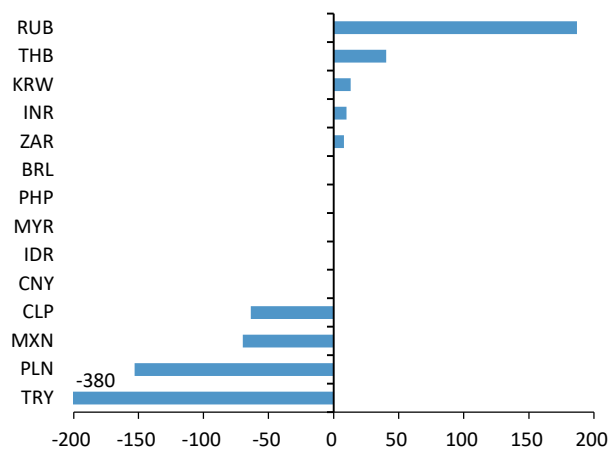
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

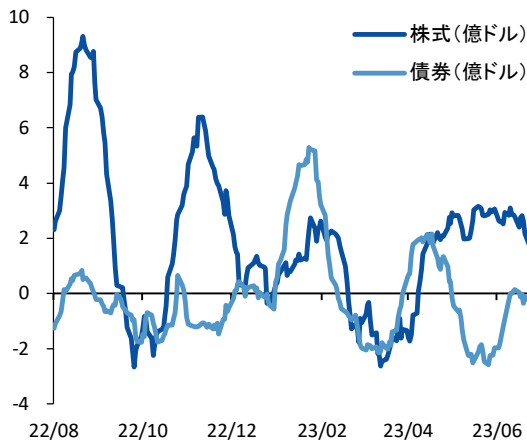


注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

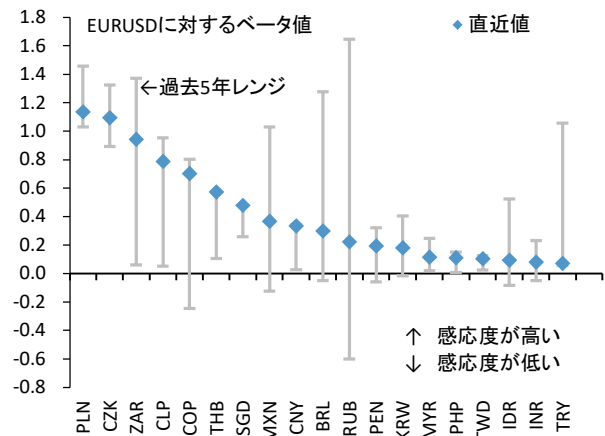
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



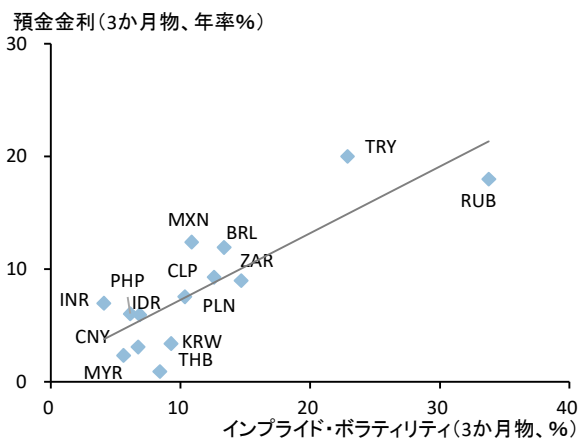
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



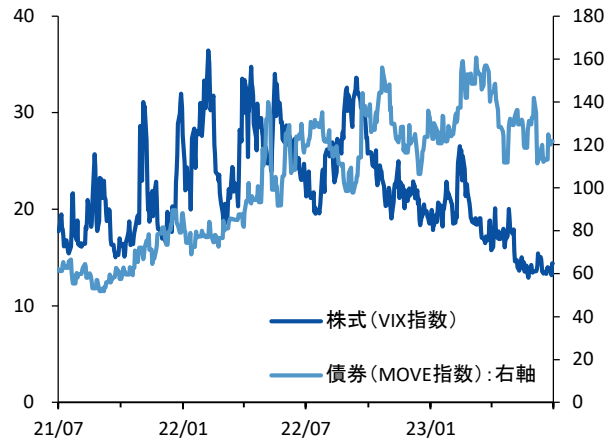
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



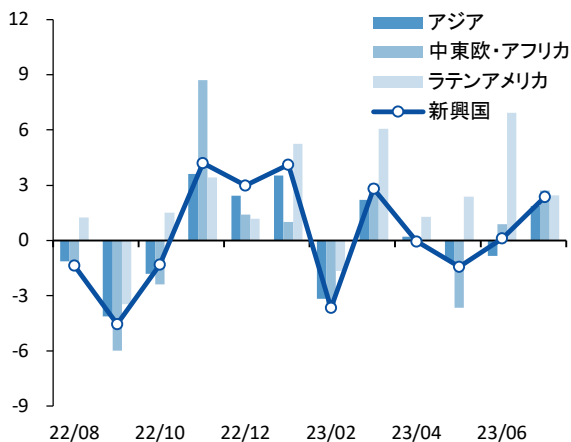
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



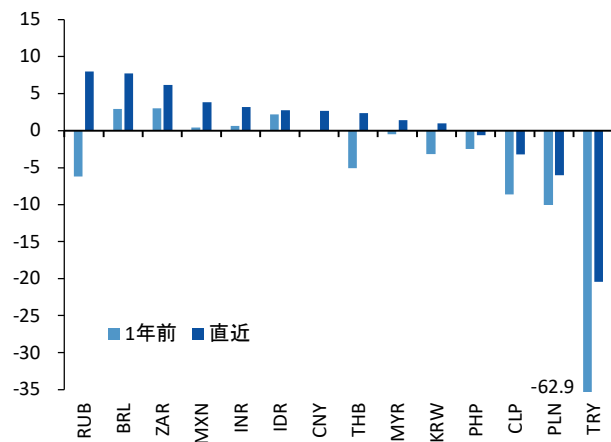
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
7月24日 (月)	マレーシア	CPI(前年比)	2.4%	2.4%	2.8%	--
24日 (月)	シンガポール	CPI(前年比)	4.4%	4.5%	5.1%	--
24-28日	タイ	貿易収支(通関ベース)	-\$900m	\$58m	-\$1849m	--
25日 (火)	韓国	GDP(前年比)	0.8%	0.9%	0.9%	--
25日 (火)	インドネシア	インドネシア銀行7日物リバースレホ ^o	5.75%	5.75%	5.75%	--
26日 (水)	韓国	消費者信頼感	--	103.2	100.7	--
26日 (水)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	-6.0%	-4.9%	-10.8%	10.5%
27-29日 (水)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	--	-122.2b	--
27日 (木)	韓国	景況判断(非製造業)	--	76	78	--
27日 (木)	韓国	景況判断(製造業)	--	69	72	--
27日 (木)	中国	工業企業利益(前年比)	--	-8.3%	-12.6%	--
28日 (金)	韓国	鉱工業生産(前年比)	-5.5%	--	-7.3%	--
28日 (金)	台湾	GDP(前年比)	0.8%	--	-2.9%	--
31日 (月)	中国	製造業PMI	--	--	49.0	--
31日 (月)	中国	非製造業PMI	--	--	53.2	--
31日 (月)	タイ	国際収支:経常収支	--	--	-\$2766m	--
8月1日 (火)	韓国	貿易収支	--	--	\$1130m	\$1126m
1日 (火)	中国	Caixin中国製造業PMI	--	--	50.5	--
1日 (火)	インドネシア	CPI(前年比)	--	--	3.5%	--
2日 (水)	韓国	CPI(前年比)	--	--	2.7%	--
2日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	--	--	2.00%	--
2日 (水)	シンガポール	購買部景気指数	--	--	49.7	--
3日 (木)	中国	Caixin中国PMIサービス業	--	--	53.9	--
4日 (金)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	--	--	5.4%	--
4日 (金)	シンガポール	小売売上高(前年比)	--	--	1.8%	--
中東欧・アフリカ						
7月25日 (火)	トルコ	製造業景況感指数(季調前)	--	106.8	108.2	--
26日 (火)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	5.4%	6.5%	7.1%	--
27日 (木)	南ア	PPI 前年比	5.6%	4.8%	7.3%	--
28日 (金)	トルコ	貿易収支	-5.40b	--	-12.53b	--
31日 (月)	トルコ	外国人観光客(前年比)	--	--	16.2%	--
31日 (月)	南ア	貿易収支(ラント)	--	--	10.2b	--
8月2日 (水)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	--	--	9.3%	--
3日 (木)	トルコ	CPI(前年比)	--	--	38.2%	--
3日 (木)	トルコ	PPI 前年比	--	--	40.4%	--
ラテンアメリカ						
7月25日 (火)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	3.3%	3.2%	3.4%	--
26日 (水)	ブラジル	経常収支	\$1000m	-\$843m	\$649m	--
26日 (水)	ブラジル	海外直接投資	\$6183m	\$1880m	\$5380m	--
27日 (木)	メキシコ	貿易収支	-1071.0m	38.2m	-74.1m	--
28日 (金)	ブラジル	FGVインフレIGPM(前年比)	-7.7%	--	-6.9%	--
31日 (月)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	--	--	3.7%	--
8月1日 (火)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	--	--	1.9%	--
2日 (水)	メキシコ	送金総額	--	--	\$5693.1m	--
2日 (水)	ブラジル	貿易収支(月次)	--	--	\$10592m	--
3日 (木)	ブラジル	SELICレート	--	--	13.75%	--

注: 2023 年 7 月 28 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2023年 1～6月（実績）	SPOT	2023年 9月	12月	2024年 3月	6月	9月
対ドル								
エマー・ジグアジア								
中国人民元	(CNY)	6.6910 ～ 7.2688	7.1675	7.00	6.95	6.90	6.85	6.80
香港ドル	(HKD)	7.7920 ～ 7.8500	7.8031	7.84	7.84	7.82	7.80	7.76
インドルピー	(INR)	80.883 ～ 82.949	81.940	83.8	82.0	80.4	79.6	79.6
インドネシアルピア	(IDR)	14565 ～ 15643	15000	15600	15000	14900	14800	14600
韓国ウォン	(KRW)	1216.30 ～ 1343.02	1277.54	1330	1310	1290	1270	1250
マレーシアリング	(MYR)	4.2250 ～ 4.6918	4.5238	4.68	4.43	4.36	4.28	4.19
フィリピンペソ	(PHP)	53.628 ～ 56.438	54.565	56.6	53.8	53.5	53.0	52.8
シンガポールドル	(SGD)	1.3032 ～ 1.3576	1.3308	1.37	1.33	1.34	1.33	1.32
台湾ドル	(TWD)	29.608 ～ 31.170	31.209	31.5	30.8	30.5	30.0	29.5
タイバーツ	(THB)	32.57 ～ 35.74	34.47	35.0	33.8	32.8	32.7	32.5
ベトナムドン	(VND)	23415 ～ 23858	23667	24500	23800	23700	23600	23400
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	67.0415 ～ 89.5446	90.6899	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0
南アフリカランド	(ZAR)	16.6950 ～ 19.9204	17.8440	19.0	20.0	19.0	19.0	20.0
トルコリラ	(TRY)	18.4339 ～ 26.1287	26.9602	24.0	22.0	20.0	22.0	24.0
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.7515 ～ 5.4798	4.7439	5.20	5.10	5.12	5.15	5.17
メキシコペソ	(MXN)	17.0249 ～ 19.5882	16.8676	18.5	19.0	19.1	19.2	19.4
対円								
エマー・ジグアジア								
中国人民元	(CNY)	18.793 ～ 20.038	19.440	20.43	20.43	20.29	20.15	20.15
香港ドル	(HKD)	16.295 ～ 18.508	17.858	18.24	18.11	17.90	17.69	17.65
インドルピー	(INR)	1.559 ～ 1.766	1.701	1.71	1.73	1.74	1.73	1.72
インドネシアルピア	(100IDR)	0.831 ～ 0.967	0.929	0.917	0.947	0.940	0.932	0.938
韓国ウォン	(100KRW)	9.915 ～ 11.151	10.902	10.75	10.84	10.85	10.87	10.96
マレーシアリング	(MYR)	29.106 ～ 31.133	30.960	30.56	32.05	32.11	32.24	32.70
フィリピンペソ	(PHP)	2.325 ～ 2.624	2.564	2.53	2.64	2.62	2.60	2.59
シンガポールドル	(SGD)	96.55 ～ 106.93	104.71	104.53	106.45	104.32	104.15	103.79
台湾ドル	(TWD)	4.205 ～ 4.663	4.492	4.54	4.61	4.59	4.60	4.64
タイバーツ	(THB)	3.770 ～ 4.096	4.040	4.09	4.20	4.27	4.22	4.22
ベトナムドン	(10000VND)	0.5430 ～ 0.6146	0.5885	0.58	0.60	0.59	0.58	0.59
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.593 ～ 1.948	1.537	1.61	1.58	1.54	1.50	1.47
南アフリカランド	(ZAR)	6.909 ～ 7.863	7.809	7.53	7.10	7.37	7.26	6.85
トルコリラ	(TRY)	5.490 ～ 7.482	5.164	5.96	6.45	7.00	6.27	5.71
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	23.723 ～ 30.209	29.369	27.50	27.84	27.34	26.80	26.50
メキシコペソ	(MXN)	6.651 ～ 8.513	8.261	7.73	7.47	7.33	7.19	7.06

注: 1. 実績の欄は 2023 年 6 月 30 日まで。SPOT は 7 月 28 日の 7 時 20 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。